

正三角形 ABC を底面とする三角錐 OABC がある。OA = OB = OC であり、正三角形 ABC の 1 辺の長さ と 三角錐の高さの和が 1 であるという。

(1) 三角錐 OABC の体積  $V$  が最大となるのは  $AB = \frac{20}{21}$  のときであり、そのとき

$$V = \frac{\sqrt{22}}{23 \cdot 24}$$

である。

(2) OA が最小となるのは  $AB = \frac{25}{26}$  のときであり、そのとき

$$OA = \frac{27}{28}, \quad \cos \angle AOB = \frac{29 \cdot 30}{31}$$

である。

(26 青山学院大 全学部 文系 3)

【答】	20	21	22	2324	25	26	27	28	2930	31
	2	3	3	81	3	4	1	2	-1	8

【解答】

正三角形 ABC の 1 辺の長さを  $a$ 、O から平面 ABC に下した垂線の長さを  $h$  とおくと

$$a + h = 1 \quad (a > 0, h > 0) \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

が成り立つ。

(1) 三角錐 OABC の体積  $V$  は

$$\begin{aligned} V &= \frac{1}{3} \cdot \triangle ABC \cdot h = \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{2} a^2 \sin 60^\circ \cdot h \\ &= \frac{\sqrt{3}}{12} a^2 h \\ &= \frac{\sqrt{3}}{12} a^2 (1 - a) \quad (\because \textcircled{1} \text{より } 0 < a < 1) \end{aligned}$$

である。

$$V' = \frac{\sqrt{3}}{12} (2a - 3a^2) = \frac{\sqrt{3}}{12} a (2 - 3a)$$

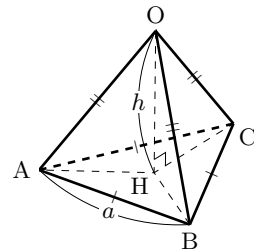
$0 < a < 1$  での  $V$  の増減は下表となる。

$a$	(0)	...	$\frac{2}{3}$	...	(1)
$V'$	(0)	+	0	-	
$V$		↗		↘	

よって、 $V$  は

$$a = \frac{2}{3} \text{ のとき、最大値 } \frac{\sqrt{3}}{12} \left(\frac{2}{3}\right)^2 \left(1 - \frac{2}{3}\right) = \frac{\sqrt{3}}{81} \quad \dots\dots \text{(答)}$$

をとる。



(2) O から平面 ABC に下した垂線の足を H とおくと,  $OA = OB = OC$  より, H は  $\triangle ABC$  の外心であり,  $\triangle ABC$  は正三角形であるから H は  $\triangle ABC$  の重心でもある.

$$\begin{aligned} OA &= \sqrt{AH^2 + OH^2} = \sqrt{\left(\frac{2}{3} \cdot a \sin 60^\circ\right)^2 + h^2} = \sqrt{\frac{a^2}{3} + (1-a)^2} \\ &= \sqrt{\frac{4}{3}a^2 - 2a + 1} \\ &= \sqrt{\frac{4}{3}\left(a - \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{1}{4}} \end{aligned}$$

であるから, OA が最小になるのは

$$AB = a = \frac{3}{4} \quad \dots\dots(\text{答})$$

のときであり, このとき

$$OA = \sqrt{\frac{1}{4}} = \frac{1}{2}, \quad \dots\dots(\text{答})$$

$$\cos \angle AOB = \frac{OA^2 + OB^2 - AB^2}{2 \cdot OA \cdot OB} = \frac{\frac{1}{4} + \frac{1}{4} - \frac{9}{16}}{2 \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2}} = \frac{-1}{8} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.